

政策	43 健康づくりの充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	市民の健康を保持するための総合的な取り組みや意識の啓発を図るとともに、妊娠・出産・乳幼児期を通して親と子の健康を確保する。						
成果指標	1 健康づくり対策に対する市民満足度... 80% (平成29年度目標値) (現状値61.2%) 2 標準化死亡比(SMR)がん ...100 ( " ) (現状値103.8%) 3 標準化死亡比(SMR)心疾患 ...100 ( " ) (現状値120.8%) 4 標準化死亡比(SMR)脳血管疾患 ...100 ( " ) (現状値141.7%)						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [ % ]	予定					80.00
		実績					
	成果指標2 [ ]	予定	100.60	100.40	100.20	100.10	100.00
		実績	103.80	101.90			
	成果指標3 [ ]	予定	113.00	110.00	106.00	103.00	100.00
		実績	120.80	127.50			
	成果指標4 [ ]	予定	132.00	127.00	118.00	109.00	100.00
実績		141.70	142.20				
トータルコスト (千円)	予定	1,391,901	1,558,298	0	0	0	
	実績	1,144,950	1,486,517	0	0	0	
内部評価	貢献度	基本施策の目標として、健康づくりを充実させることは、基本方針が目指す健康で生きがいのあるまちづくりに大きく貢献する。					
	達成状況	単位施策については概ね達成できてはいるが、3大生活習慣病の標準化死亡比は、一部前年度より向上したものの目標値に近づけることは出来なかった。					
	課題	さらなる目標の達成のためには、今後それぞれの事業での、内容の充実や運営の工夫等が求められる。					
	取組方針	市と市民、関係団体、各機関とが綿密に連携しながら、ともに健康寿命を分かち合えるよう、各種施策を再検討する。					
外部評価	成果指標である3大生活習慣病の標準死亡比は、それぞれ目標値が達成されていない。引き続き3大生活習慣病の標準化死亡比100以下を目指してほしい。 3大生活習慣病の標準死亡比を下げるためには、市民の食生活の改善が必要と思われる。食生活改善委員を活用し、さらなる食生活改善策のPRを図ってほしい。 また、他市との各種データを比較し、本市の特色を洗い出して、その対策を検討してもらいたい。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	4302	市民の健康づくり支援				342,684	100
	4303	母子保健の充実				253,603	99
	4301	予防対策の強化				890,230	86